

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

専門分野区分	ビジネス基礎	科目名	ビジネストピックス I					科目コード	T1640B2	
配当期	後期	授業実施形態	通常					単位数	2 単位	
担当教員名	大谷 昇治	履修グループ	1H(BI/BO)					授業方法	講義	
実務経験の内容	IT企業のSEを経て製造業に移りシステム責任者となる。その後、取締役につき財務責任者として、事業計画や経営業務、関係会社の事業運営を担当した。外貨資金、為替オプション等管理、為替・株式・原油市場等、経済・地政等の調査業務の体験した話を共有できればと考えている。									
学習一般目標	日本経済・各種業界・個別企業の動向を幅広く知っておくことは、今後社会人として生きていくうえでとても大切なこと、2年次より本格的に始まる就職活動を、または更なる進学を見据えて、学生として知っておかねばならないビジネスに関する様々な知識を身につけることが可能となる。 新聞・専門誌などの記事に触れることによって、基本的なビジネス用語を理解するとともに、各種資格取得の一助となる。									
授業の概要および学習上の助言	毎週の講義において、ビジネスに関するタイムリーな情報を身につけるため、授業当日前一週間に新聞等で取り上げられた記事や、経済誌などから授業当日のレジュメを作成、資料とする。ビジネス用語・漢字の読み書き・言葉の言い回しなどに注意するまた、必要に応じて簿記等のテキストを使用する。									
教科書および参考書	特になし、毎時間こちらで準備します。 新聞各紙、・日経ビジネス・東洋経済等のビジネス雑誌その他。									
履修に必要な予備知識や技能	日々生活する中で、時事に関する様々な出来事について関心を払うよう心がけることが望ましい。 日本商工会議所簿記検定3級程度の簿記に関する基礎知識。									
使用機器	特になし									
使用ソフト	特になし									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1/2/5	ビジネスに関する様々な出来事について関心を持つことができる								
	1/2	新聞記事・経済専門誌を抵抗なく読むことができる								
	1/3/5	ビジネス専門用語の意味が分かるようになる								
	1/2/5	経済・社会・企業の動向をつかむことができる								
	1/2/5	就職活動・進学・各種検定試験受験にあたっての知識の習得につなげることができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	20	5	5					30
		2.思考・判断	20	10	10					40
		3.態度							10	10
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合	40	15	15				30	100	
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	定期試験は記述式を主体として、習得知識の確認と理解力を問う
小テスト	不定期にビジネス用語および新聞記事に記載された漢字等の読み書きについてミニテストを行う
レポート	新聞記事・雑誌の内容について、ポイントを整理するといった形での課題をあたえる
成果発表(口頭・実技)	
作品	
ポートフォリオ	
その他	授業に自ら進んで積極的に参加する姿勢を重視する あらゆる出来事に関心を持って接しているか

### 授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	毎回、その時々に応じた資料を準備し講義する		
第2回	新聞等から最新のトピックを取り上げ、その背景について解説する		
第3回	経済紙等から最新のトピックを取り上げ、経済、企業動向について解説する。意見交換等		
第4回	経済紙等から最新のトピックを取り上げ、経済、企業動向について解説する。意見交換等		
第5回	新聞記事・雑誌の内容について、ポイントの整理方法について		
第6回	これまでのビジネス用語について小テスト最新のトピック解説		
第7回	新聞等から最新のトピックを取り上げ、その背景について解説する		
第8回	新聞等から最新のトピックを取り上げ、その背景について解説する。		
第9回	経済紙等から最新のトピックを取り上げ、経済、企業動向について、記事の読み方を解説する。		
第10回	経済紙等経済紙等から最新のトピックを取り上げ、経済、企業動向についてグループワークの実施		
第11回	前回のグループワークの意見集約とグループプレゼンテーション発表		
第12回	これまでの経済用語について小テスト最新のトピック解説		
第13回	各自関心のあるトピックについて取り上げ、内容を説明し、それに対する自身の意見を発表		
第14回	課題解決型授業1	遠隔授業 実施時期:5期(11/1~11/15)	別途指示
第15回	課題解決型授業2	遠隔授業 実施時期:7期(12/1~12/15)	別途指示